



マスコットキャラクター「花びとくん」

エコアクション21

## 環境活動レポート

平成23年度

(活動期間：平成23年7月～平成24年6月)

平成24年9月25日 制定

平成24年10月22日 改定



株式会社 花菱塗装技研工業 本社・本社工場

## 目 次

	頁
1. 環境方針、行動指針	3
2. 組織の概要(名称、所在地、事業活動の内容、事業の規模、対象範囲)	4・5
3. 平成 23 年度環境目標及び具体的取組み内容)	6・7
4. 平成 23 年度環境活動の実績及び評価	7・8・9・10
5. 中期目標(平成 24 年度～平成 26 年度)	11・12・13
6. 次年度の環境活動計画(主な取組み内容)	14
7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに 違反、訴訟等の有無	14・15
8. 代表者による全体評価と見直しの結果	15

## 1. 環境方針

# 環境方針

## 基本方針

株式会社花菱塗装技研工業は、事業活動を行うことにより、環境へ多大な影響を及ぼすことを十分に認識し、地球環境の保全と環境負荷を低減するための環境経営システムを構築する。


また、継続的運用にあたっては、社員一人一人が限りある資源の有効利用を社内外に率先垂範することにより、地球環境に優しい企業及び人創りを目指します。

## 行動指針

1. 当社は、地球環境保全への取組みを企業活動の重要課題の一つと位置づけ、全社員を挙げて、環境保全への継続的な改善を行います。
2. 当社は、環境に配慮した塗料等の主要原材料を始め、事業運営にともない使用される電気、化石燃料、水等のエネルギーの削減及び産業廃棄物の排出量の削減に取り組み、環境負荷低減型の事業活動を促進します。
3. 当社は、グリーン購入を推進します。
4. 当社は、環境に配慮した塗装を推進します。
5. 当社は、環境関連法規制及びその他の各種協定等を遵守します。
6. 当社は、全社員への環境教育を充実させるとともに、清掃活動等を通し、社会の一員として地域社会に貢献します。
7. 当社は、この環境方針を全従業員に周知徹底し、外部からの要望に対してもこの方針を公開します。

2012年7月2日改定

株式会社花菱塗装技研工業

代表取締役 稲田 健 

## 2. 組織の概要

### (1) 事業所名称及び代表者氏名

株式会社 花菱塗装技研工業

代表取締役 稲田 健

### (2) 所在地(本社) 〒882-0024 宮崎県延岡市大武町 39 番地 70

### (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

・責任者 環境管理責任者 代表取締役 稲田 健

・担当者 EA21推進事務局 企画管理室長 藤田 精二

・連絡先 電話 0982-34-8228

Fax. 0982-21-5190

E-mail hanabishi@hanabisi.co.jp

ホームページURL <http://www.hanabisi.co.jp>

### (4) 事業活動の内容

1. 橋梁塗装
2. 一般建築塗装
3. プラント塗装
4. サンドブラスト
5. 防水加工
6. 発泡ウレタン吹付け塗装
7. 機械・装置部品の塗装
8. フッ素コーティング加工
9. シルク印刷

### (5) 事業の規模

資本金 1,000 万円

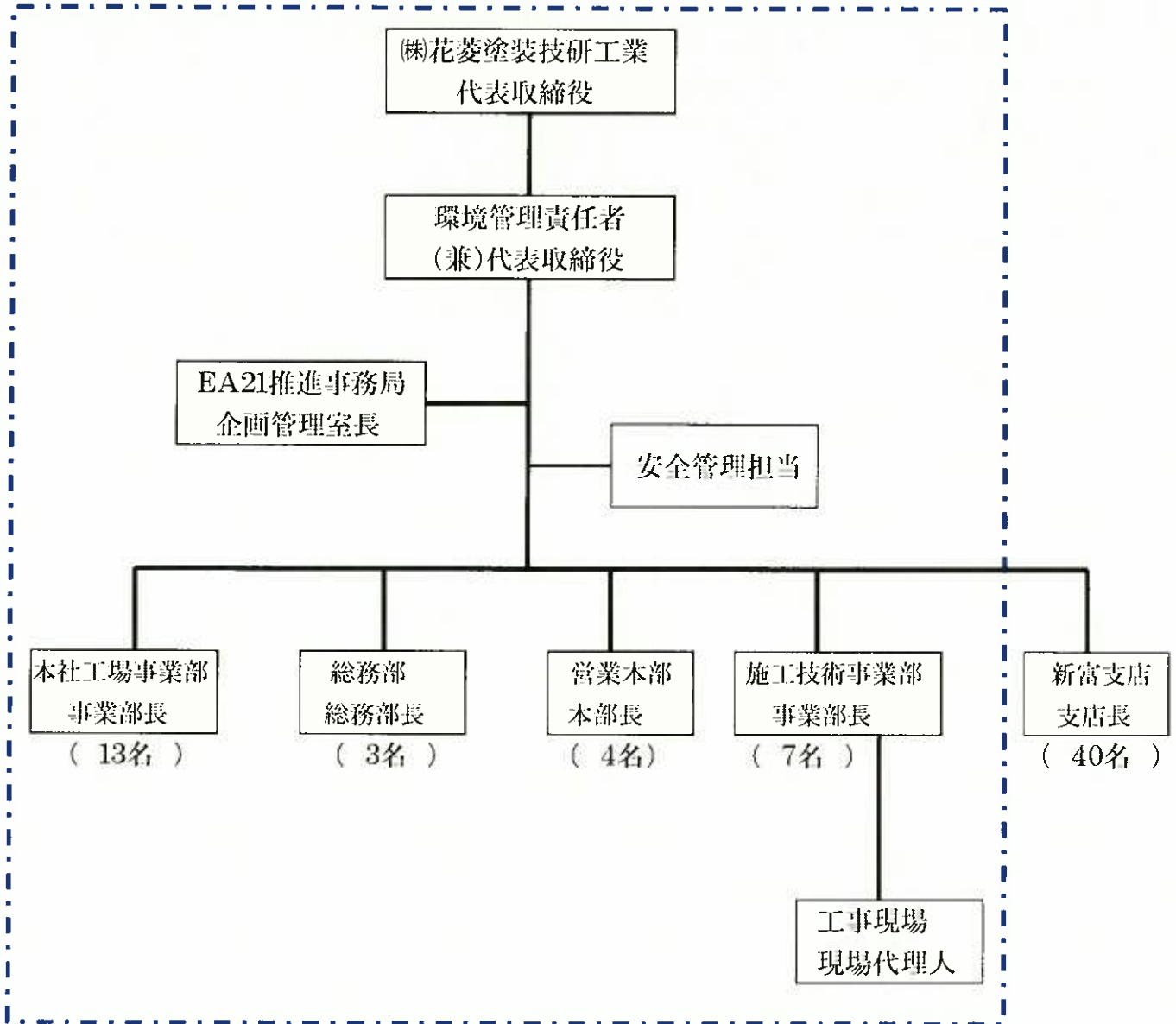
設立年月日 昭和 18 年 1 月

	単 位	平成21年度	平成22年度	平成23年度
売上高(全社分)	百万円	792	698	751
売上高(H22年認証対象範囲)	百万円	268	412	451
工事件数	件	139	126	197
従業員数(全社人員)	人	73	67	69
従業員数(認証対象範囲)	人	17	29	29
延床面積(全社)	m <sup>2</sup>	4,300	4,300	4,300
延床面積(認証対象範囲)	m <sup>2</sup>	160	2,000	2,000

\*従業員数は年度末の人員数

(6)対象組織

\*青点線内が認証登録範囲



\*対象組織の認証範囲拡大計画

本社(総務部・営業本部・施工事業部)  
本社工場  
新富支店

2009年認証登録組織範囲 (15名)

2010年認証登録組織範囲拡大 (13名)

2013年認証登録組織範囲拡大予定 (40名)

### 3. 平成23年度環境目標及び主な取り組み内容

#### (1) 本社事務所

	項目	目標	具体的取り組み内容
地球環境問題への取	電力使用量の削減	H22 年度実績の 2%削減	・冷暖房設備の適温化(冷房 28℃程度、暖房 20℃程度)の徹底 ・昼休みや残業時の不必要な照明の消灯の徹底
	ガソリン使用量の削減	H22 年度実績の 2%削減	・車輛整備(タイヤ空気圧・オイル交換等)の徹底 ・低燃費車への車輛更新の促進を図る ・運行実績管理表の燃費効率チェック(月次)の徹底
	廃棄物排出量の削減	H22 年度実績の 2%削減	・ごみの分別(分別回収ボックス使用)の徹底 ・使用済み用紙の裏面利用
	水使用量の削減	H22 年度実績の 2%削減	・手洗い時、洗い物時等の節水の励行

#### (2) 本社工場

	項目	目標	具体的取り組み内容
地球環境問題への取組み	電力使用量の削減	H22 年度実績の 2%削減	・休憩時間等不稼働時の工場内消灯の徹底 ・電気乾燥炉の稼働効率向上対策を推進する
	LPG使用量の削減	H22 年度実績の 2%削減	・ガス(LPG)乾燥炉の稼働効率向上
	ガソリン使用量の削減	H22 年度実績の 2%削減	・車輛整備(タイヤ空気圧・オイル交換等)の徹底
	軽油使用量の削減	H22 年度実績の 2%削減	・製品納入時のトラック積載効率向上の促進
	廃棄物排出量の削減	H22 年度実績の 2%削減	・塗装ブース水槽液の交換頻度削減の推進
	水使用量の削減	H22 年度実績の 2%削減	・塗装ブースの散水量(散水頻度と量)削減の推進
	化学物質使用量の削減	H22 年度実績の 2%削減	・顧客の塗料指定がない場合は、化学物質含有量の少ない塗料の使用を推進する



### (3) 工事現場(塗装工事)

	項目	目標	具体的取組み内容
地球環境問題への取組み	電力使用量の削減	H22 年度実績の 2%削減	・現場事務所の照明等、節電を徹底する
	ガソリン使用量の削減	H22 年度実績の 2%削減	・発電機等のエンジン動力不要時の運転停止の徹底
	軽油使用量の削減	H22 年度実績の 2%削減	
	廃棄物排出量の削減	H22 年度実績の 2%削減	・プラストサンド回収時の供給水量削減の徹底
	水資源使用量の削減	H22 年度実績の 2%削減	・水洗い作業効率化の推進
	化学物質使用量の削減	H22 年度実績の 2%削減	・顧客の塗料指定がない場合は、化学物質含有量の少ない塗料の使用を推進する

## 4. 平成23年度環境活動の実績及び評価

### (1) 本社事務所の実績

	項目	環境目標	単位	目標値	実績値	目標/実績 (%)
地球環境問題への取組み	二酸化炭素排出量	H22 年対比 2%減	k g-CO <sub>2</sub>	55,089	50,780	108
	電力使用量	H22 年対比 2%減	k w h	41,237	38,602	107
	ガソリン使用量	H22 年対比 2%減	ℓ	17,313	16,086	108
	廃棄物排出量	H22 年対比 2%減	トン	1.28	0.7	182
	水の使用量	H22 年対比 2%減	m <sup>3</sup>	309	479	64

### (2) 本社事務所の評価

#### ① 二酸化炭素排出量

- ・電力使用量及びガソリン使用量の削減により、二酸化炭素排出量の削減目標を達成することができた。

#### ② 電力使用量

- ・電力使用量が減少した理由は、積算電力計を本社工場と共用しており、その使用量

を一定割合で按分しているが、本社工場の生産減少(売上げ前年比5%減)による稼働時間の減少による影響が大である。併せて、本社事務所のエアコンを省エネタイプに更新(平成23年1月)した効果があったものとする。

③ガソリン使用量

・社有車1台をハイブリッド車に転換(平成23年4月)する等の効果で削減目標を達成することが出来た。

④廃棄物排出量

・目標を大きく上回る削減が出来たが、コピー紙の裏面利用の徹底等による紙類の廃棄量が減少したものとする。

⑤水の使用量

・水の使用量が大幅に増加した原因は、埋設配水管の漏水箇所の特定と修理に時間を要したことによる上水の流出であり、再発防止対策を実施した。

(3)本社工場の実績

	項目	環境目標	単位	目標値	実績値	目標/実績 (%)
地球環境問題への取組み	二酸化炭素排出量	H22年対比2%減	kg-CO2	244,621	225,156	109
	電力使用量	H22年対比2%減	kwh	489,200	446,228	110
	LPG使用量	H22年対比2%減	kg	22,552	21,090	107
	ガソリン使用量	H22年対比2%減	ℓ	1,091	993	110
	軽油使用量	H22年対比2%減	ℓ	1,578	1,620	97
	廃棄物排出量	H22年対比2%減	トン	9.41	7.07	133
	水の使用量	H22年対比2%減	m <sup>3</sup>	312	486	64
	化学物質使用量	H22年対比2%減	トン	2.79	7.95	35

(4)本社工場の評価

①二酸化炭素排出量

・目標を達成した主な要因は、売上げ減(前年比95%)による工場稼働減少から、電力及びLPGの使用量が減少したことによるものである。

②電力使用量

目標に対して10%減であったが、これは生産量減(前年比95%)による電力使用量減と電力使用機器(関連会社設備)を工場外に移転(H24年3月)したことからである。

③LPG使用量



目標に対して7%減であったが、その原因は生産量減（前年比95%）によるLPG乾燥炉稼働減少である。

④ガソリン使用量

削減目標値を達成していることから、環境活動は適切に実施できている。尚、本社工場社有車の年間走行距離は前年対比で微増（約1%）している。

⑤軽油使用量

削減目標値を3%未達であるが、車輛（トラック）の省エネ運転励行の啓発を図る。

⑥廃棄物排出量

削減目標値を達成していることから、環境活動は適切に実施できている。

⑦水の使用量

削減目標値を大きく未達（36%）であるが、原因は埋設配水管の漏水箇所の特定と修理に時間を要したことが原因である。

⑧化学物質使用量

目標に対して大きく未達（65%）であるが、特にトルエンの使用量が増大（約31倍）していることから、その削減に取り組むことにする。

(5) 工事現場の実績

	項目	環境目標	単位	目標値	実績値	目標/実績 (%)
地球環境問題への取組み	二酸化炭素排出量	H22年対比2%減	kg-CO2	3,771	3,780	100
	電力使用量	H22年対比2%減	kwh	1,725	219	787
	ガソリン使用量	H22年対比2%減	ℓ	433	650	67
	軽油使用量	H22年対比2%減	ℓ	825	819	101
	廃棄物排出量	H22年対比2%減	トン	34.8	8.7	400
	水資源使用量	H22年対比2%減	m <sup>3</sup>	139	35	397
	化学物質使用量	H22年対比2%減	トン	2.14	4.38	49

(6) 工事現場の評価

①二酸化炭素排出量

削減目標値とおりに削減できたが、これは電力使用量が大幅に減少していることが原因である。

②電力使用量

削減目標値より大きく減少しているが、これは購入電力使用の工事が少なかったこと

が原因である。

③ガソリン使用量

削減目標値を大きく未達(33%)であるが、これは動力(ガソリン燃料)機械を必要とする工事現場の施工が増えたことが原因である。

④軽油使用量

削減目標値とおりに削減することが出来たが、環境活動の継続により更に削減する。

⑤廃棄物排出量

削減目標値より大きく減少しているが、サンドブラスト施工仕様の工事がなかったことから、サンドブラスト廃棄物(汚泥)の発生(前年度は27トン)がなかった。

⑥水資源使用量

削減目標値に対し22%増であるが、その原因は塗替塗装工事の顧客仕様で水洗い作業が多かったことが原因と考えるが、工事品質に関わることから削減は困難である。

⑦化学物質使用量

本年度の使用量を把握することができたので、平成23年度から削減目標を設定する。

(7)全体(認証・登録組織の全範囲)の実績

	項目	環境目標	単位	目標値	実績値	目標/実績 (%)
地球環境問題への取組み	二酸化炭素排出量	H22年対比2%減	k g-CO2	295.851	279.716	106
	電力使用量	H22年対比2%減	k w h	532.162	485.049	109
	L P G使用量	H22年対比2%減	k g	22.552	21.090	107
	ガソリン使用量	H22年対比2%減	ℓ	18.837	17.729	106
	軽油使用量	H22年対比2%減	ℓ	2.403	2.439	99
	廃棄物排出量	H22年対比2%減	トン	45.5	16.5	275
	水の使用量	H22年対比2%減	m <sup>3</sup>	760	1,000	76
	化学物質使用量	H22年対比2%減	トン	4.93	12.33	40

\* 購入電力の二酸化炭素排出係数は0.348を使用しています。

(8)全体(認証・登録組織の全範囲)の評価

①二酸化炭素排出量

削減目標値に対して8%減であり、と売上げ増(前年比109%)と併せて考慮すると環境活動の成果である。

②電力使用量

削減目標値に対し9%減であるが、これは本社工場内の関連会社一部設備を社外の関連会社工場内に移設(H24年3月)したこと、及び本社事務所エアコンの省エネタイプ更新(平成23年1月)による効果である。

③LPG使用量

削減目標値に対し7%減の主な要因は、本社工場の売上げ減(前年比95%)によるLPG乾燥炉の稼働時間の減少であると考えている。

④ガソリン使用量

削減目標値に対し6%減であるが、社有車1台をハイブリッド車に更新(H23年4月)したことの効果であると考えている。

④軽油使用量

削減目標値を計画とおりに達成することができた。

⑤廃棄物排出量

削減目標値を大きく超える削減ができたが、本年度(H23年度)はサンドブラスト施工仕様の現場工事がなかったことから、汚泥廃棄物(H22年度は27トン)の発生がなかったことが原因である。

⑥水の使用量

削減目標値を達成できなかった理由は、本社事務所・本社工場の埋設配水管の漏水箇所の特定に日数を要して配水管漏水修理が遅くなり、約300m<sup>3</sup>の上水流出があったことから、再発防止対策を実施することとした。

⑦化学物質使用量

平成23年度から削減目標を設定するも目標値を大きく超える実績値になった為に中期目標の見直しを実施する。

## 5. 中期目標(平成24年度～平成26年度)

中期目標については、平成23年度実績値をベースに以下のとおり定めた。

なお、昨年と同様に「本社事務所」「本社工場」「工事現場」の環境活動単位で各々の中期目標を定めて環境活動を実施する。

## (1)本社事務所

\*各項目ともに平成23年度実績をベースに3年間で6%削減する。

項 目		単 位	平成23年度 実績値	平成24年度 目標値	平成25年度 目標値	平成26年度 目標値
二酸化炭素排出量		kg-CO <sub>2</sub>	50,780	49,764	48,748	47,733
主な 項目	電力使用量	kwh	38,602	37,829	37,057	36,285
	ガソリン使用量	ℓ	16,086	15,764	15,442	15,120
廃棄物排出量		トン	0.7	0.68	0.67	0.65
水の使用量		m <sup>3</sup>	479	469	459	450

## (2)本社工場

\*各項目ともに平成23年度実績をベースに3年間で6%削減する。

項 目		単 位	平成23年度 実績値	平成24年度 目標値	平成25年度 目標値	平成26年度 目標値
二酸化炭素排出量		kg-CO <sub>2</sub>	225,156	220,652	216,149	211,646
主な 項目	電力使用量	kwh	446,228	437,303	428,378	419,454
	LPG使用量	kg	21,090	20,668	20,246	19,824
	ガソリン使用量	ℓ	993	973	953	933
	軽油使用量	ℓ	1,620	1,587	1,555	1,522
廃棄物排出量		トン	7.07	6.92	6.78	6.64
水の使用量		m <sup>3</sup>	486	476	466	456
化学物質使用量		トン	7.95	7.79	7.63	7.47

### (3) 工事現場

\* 各項目ともに平成23年度実績をベースに3年間で6%削減する。

項目		単位	平成23年度 実績値	平成24年度 目標値	平成25年度 目標値	平成26年度 目標値
二酸化炭素排出量		kg-CO <sub>2</sub>	3,780	3,704	3,628	3,553
主な 項目	電力使用量	kwh	219	214	210	205
	ガソリン使用量	ℓ	650	637	624	611
	軽油使用量	ℓ	819	802	786	769
廃棄物排出量		トン	8.7	8.5	8.3	8.1
水資源使用量		m <sup>3</sup>	35	34	33	32
化学物質使用量		トン	4.38	4.29	4.20	4.11

### (4) 全体(認証・登録組織の全範囲)

\* 各項目ともに平成23年度実績をベースに3年間で6%削減する。

項目		単位	平成23年度 実績値	平成24年度 目標値	平成25年度 目標値	平成26年度 目標値
二酸化炭素排出量		kg-CO <sub>2</sub>	279,716	274,121	263,156	262,933
主な 項目	電力使用量	kwh	485,049	475,348	465,647	455,946
	LPG使用量	kg	21,090	20,668	20,246	19,824
	ガソリン使用量	ℓ	17,729	17,374	17,019	16,665
	軽油使用量	ℓ	2,439	2,390	2,341	2,292
廃棄物排出量		トン	16.5	16.1	15.8	15.5
水の使用量		m <sup>3</sup>	1,000	980	960	940
化学物質使用量		トン	12.33	12.0	11.8	11.59

#### (認証・登録組織全範囲の実績推移)

項目	単位	H21年実績	H22年実績	H23年実績	H24年計画
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	298,699	301,890	279,716	274,121
廃棄物排出量	トン	53.7	52.5	16.5	16.1
水の使用量	m <sup>3</sup>	817	777	1,000	980
化学物質使用量	トン	—	5.04	12.33	12.0



## 6. 次年度(平成 24 年度)の環境活動計画(主な取組み内容)

### (1) 本社事務所における環境活動計画(主な取組み内容)

- ・冷暖房設備の適温化(冷房 28℃程度、暖房 20℃程度)を徹底する。
- ・昼休みや残業時には、不必要な照明の消灯を徹底する。
- ・車輛整備(タイヤ空気圧・オイル交換等)実施を徹底する。
- ・社有車運行実績管理表による燃費効率チェック(月次)の実施。
- ・ごみの分別(分別回収ボックス使用)を徹底する。
- ・使用済み用紙の裏面利用を徹底する。
- ・手洗い時、洗い物時等の節水を励行する。
- ・毎週の漏水チェックの実施。
- ・事務用品等のグリーン購入を推進する。

### (2) 本社工場における環境活動計画(主な取組み内容)

- ・休憩時間等不稼働時の工場内消灯を徹底する。
- ・休憩室エアコンの稼働を必要最小限にする。
- ・LPG乾燥炉の稼働効率向上の推進。
- ・塗装ブースの散水量(散水頻度と量)削減の推進。
- ・顧客の塗料指定がない場合は、化学物質含有量の少ない塗料の使用を推進する。
- ・粉体塗装の提案推進。

### (3) 現場(塗装工事)における環境活動計画(主な取組み内容)

- ・現場事務所の照明等、節電を徹底する。
- ・発電機等のエンジン動力不要時の運転停止を徹底する。
- ・水洗い作業の効率化を推進する。
- ・顧客の塗料指定がない場合は、化学物質含有量の少ない塗料の使用を推進する。
- ・環境に配慮した塗装の推進。



## 7. 環境関連法規等への違反、訴訟等の有無

### (1) 事業活動に関連する主な法規

法令等の名称	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	遵守
消防法	遵守
電気事業法	遵守
高圧ガス法・LPガス法	遵守
PRT法	遵守
道路交通法	遵守
有機溶剤中毒予防規則	遵守
延岡市環境基本条例	遵守
労働安全衛生法	遵守
建設業法	遵守

### (2) 違反訴訟などの有無

当社の事業活動に関わる環境関連法規などの遵守状況を確認した結果、違反はなかった。  
また、行政等の関係機関等からの指摘及び利害関係者からの訴訟もなかった。

## 8. 代表者による全体評価と見直しの結果

今年度の環境目標達成状況については、売上高が増加(H23年実績/H22年実績=109%)したにも関わらず、最重要項目と位置付ける二酸化炭素排出量の削減目標を達成することが出来たことは、環境活動推進の成果であると評価している。

なお、平成25年(2013年10月)には認証範囲を拡大して新富支店の認証取得申請を行う予定にしており、新富支店の認証取得で当社の全組織が認証範囲となる。環境活動についての認識を全社で共有することで、その取り組みが一層進展することを期待する。